令和６年度前期学力検査　数学　詳解

1

あとの各問いに答えなさい。（20点）

⑴　$-2^2-7\times(-5)$　を計算しなさい。

⑵　$(2x+7)-(3x-2)$　を計算しなさい。

⑶　$\sqrt{75}+\dfrac{9}{\sqrt{27}}$　を計算しなさい。

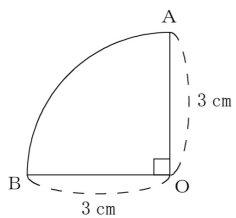
⑷　二次方程式　$(x-2)^2-25=-5(x+3)$　を解きなさい。

⑸　50以上60未満の整数のうち，素数をすべて求めなさい。

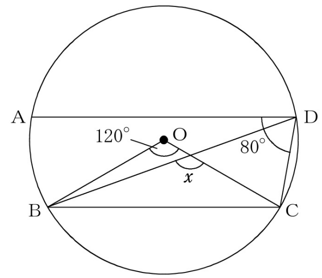
⑹　y は x の一次関数で，そのグラフが点$(2,-1)$を通り，傾き（かたむ）き $\dfrac{3}{2}$ の直線であるとき，この一次関数の式を求めなさい。

⑺　$a=2$，$b=-\dfrac{7}{9}$　のとき，$54ab^2\div 4b\times 2a$　の式の値（あたい）を求めなさい。

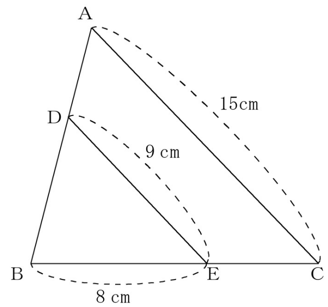
⑻　右の図のように，半径３cm，$\angle AOB=90^\circ$ のおうぎ形ＯＡＢがある。おうぎ形ＯＡＢを，直線ＡＯを軸（じく）として１回転させてできる立体の表面積を求めなさい。
　ただし，円周率は π とする。



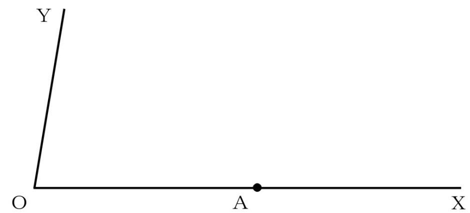
⑼　次の図のように，円Ｏの周上に４点Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄがある。$\angle ADC=80^\circ$，$\angle BOC=120^\circ$，ＡＤ // ＢＣのとき，$\angle x$ の大きさを求めなさい。



⑽　次の図のように，△ＡＢＣの辺ＡＢ上に点Ｄ，辺ＢＣ上に点Ｅがある。ＡＣ＝15cm，ＤＥ＝９cm，ＢＥ＝８cm，ＡＣ // ＤＥのとき，ＥＣの長さを求めなさい。



⑾　次の図で，線分ＯＸ上に点Ａがあり，$\angle XOY=80^\circ$　であるとき，$\angle OAP=90^\circ$，$\angle OPA=50^\circ$　となる△ＯＡＰを１つ，定規とコンパスを用いて作図しなさい。
　なお，作図に用いた線は消さずに残しておきなさい。



解答

(1) $-2^2-7\times(-5)=-4+35$
$=\mathbf{31}$

(2) $(2x+7)-(3x-2)=2x+7-3x+2=2x-3x+7+2$
$=\boldsymbol{-x+9}$

(3) $\sqrt{75}+\dfrac{9}{\sqrt{27}}=5\sqrt{3}+\dfrac{9\sqrt{27}}{27}=5\sqrt{3}+\dfrac{9\times3\sqrt{3}}{27}=5\sqrt{3}+\dfrac{27\sqrt{3}}{27}=5\sqrt{3}+\sqrt{3}$
$=\boldsymbol{6\sqrt{3}}$

(4)
$$\begin{aligned}(x-2)^2-25&=-5(x+3)\\x^2-4x+4-25&=-5x-15\\x^2+x-6&=0\\(x+3)(x-2)&=0\\x&=\mathbf{-3,\ 2}\end{aligned}$$

(5) 素数 2，3，5，7，11，13⋯ に対し，$7^2=49$，$11^2=121$ より 60 未満の素数は 11 までの素数で割り切れない 1 以外の整数である．2 以外の偶数の素数は無いので，50 以上 60 未満の整数で残るのは

51，53，55，57，59

3 で割り切れるものは 51，57，5 で割り切れるものは 55，7 で割り切れるものは上の中に無く，11 で割り切れるものは 55．残ったものが素数であるから**53，59**.

(6) 傾きが $\dfrac{3}{2}$ の一次関数であるから $y=\dfrac{3}{2}x+b$ と書ける．これが $(x,\ y)=(2,\ -1)$ を通ることより

$$\begin{aligned}-1&=\frac{3}{2}\times2+b\\-1&=3+b\\b&=-4\end{aligned}$$

よって $\boldsymbol{y=\dfrac{3}{2}x-4}$.

(7)
$$\begin{aligned}54ab^2\div4b\times2a&=\frac{54ab^2\times2a}{4b}\\&=27a^2b\end{aligned}$$

$a=2,\ b=-\dfrac{7}{9}$ のとき

$$\begin{aligned}27a^2b&=27\times2^2\times\left(-\frac{7}{9}\right)=-3\times4\times7\\&=\mathbf{-84}\end{aligned}$$

(8) 立体は半径が 3 cm の半球になる．
曲面部分の面積は

$$4\times\pi\times3^2\times\frac{1}{2}=18\pi\ \mathrm{cm}^2$$

平面部分の面積は

$$\pi\times3^2=9\pi\ \mathrm{cm}^2$$

よって表面積は

$$18\pi+9\pi=\boldsymbol{27\pi}\ \mathrm{cm}^2$$

(9)
$$\begin{aligned}\angle\mathrm{OBC}=\angle\mathrm{OCB}&=\frac{1}{2}(180^\circ-120^\circ)\\&=30^\circ\end{aligned}$$

弧 BC に対する中心角と円周角の関係より

$$\angle\mathrm{BDC}=\frac{1}{2}\angle\mathrm{BOC}=\frac{1}{2}\times120^\circ=60^\circ$$

よって

$$\angle\mathrm{ADB}=80^\circ-\angle\mathrm{BDC}=80^\circ-60^\circ=20^\circ$$

AD // BC より錯角の関係から

$$\angle\mathrm{DBC}=\angle\mathrm{ADB}=20^\circ$$

以上より

$$\angle x = 180^\circ - (\angle \mathrm{OCB} + \angle \mathrm{DBC}) = 180^\circ - (30^\circ + 20^\circ)$$
$$= \mathbf{130^\circ}$$

⑽ $\mathrm{BE} : \mathrm{ED} = \mathrm{BC} : \mathrm{CA}$

$$8 : 9 = \mathrm{BC} : 15$$
$$9\mathrm{BC} = 120$$
$$\mathrm{BC} = \frac{120}{9} = \frac{40}{3}$$

$\mathrm{EC} = \mathrm{BC} - \mathrm{BE}$ より

$$\mathrm{EC} = \frac{40}{3} - 8 = \frac{40}{3} - \frac{24}{3}$$
$$= \boldsymbol{\frac{16}{3}}\ \mathrm{cm}$$

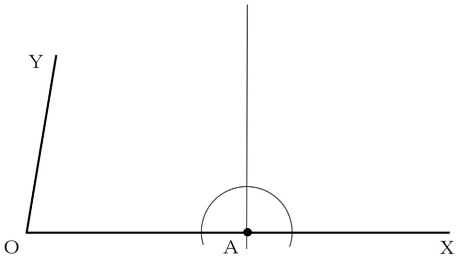
⑾ $\angle \mathrm{OAP} = 90^\circ$，$\angle \mathrm{OPA} = 50^\circ$ のとき $\angle \mathrm{POA} = 40^\circ$.

①：A を通る OX の垂線を作図する.

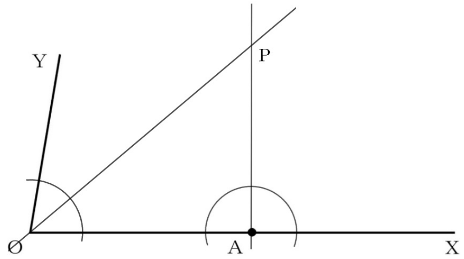
②：$\angle \mathrm{XOY} = 80^\circ$ であるから $\angle \mathrm{XOY}$ の角の二等分線をを作図する.

③：①, ②の交点を P とする.

①



②, ③



2

右の図は，A組，B組，C組，D組のそれぞれ31人の生徒が受けた，１００点満点の数学のテスト結果を，箱ひげ図に表したものである。

このとき，あとの各問いについて，右の箱ひげ図から読みとり答えなさい。

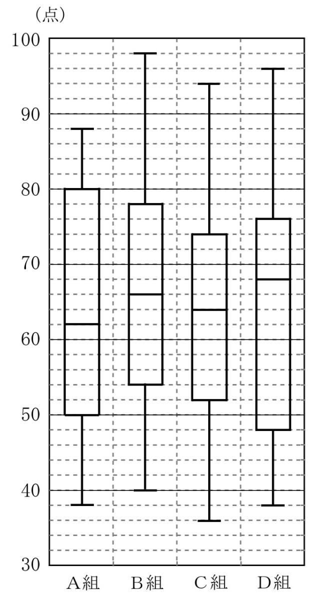
ただし，得点は整数とする。（６点）

⑴　中央値が最も大きい組の，中央値を求めなさい。

⑵　四分位範囲が最も小さい組の，第１四分位数を求めなさい。

⑶　80点以上の生徒の人数が最も多い組はどれか，次の**ア**～**エ**から最も適切なものを１つ選び，その記号を書きなさい。

ア．A組　　**イ**．B組
ウ．C組　　**エ**．D組



解答

⑴　箱ひげ図より D 組で，D 組の中央値は **68** 点.

⑵（四分位範囲）＝（第 3 四分位数）－（第 1 四分位数）で

A 組：$80 - 50 = 30$
B 組：$78 - 54 = 24$
C 組：$74 - 52 = 22$
D 組：$76 - 48 = 28$

であるから，C 組の四分位範囲が最も小さく，C 組の第 1 四分位数は **52** 点である.

⑶　各組 31 人いるので，第 3 四分位数より上の人は 7 人いる．すなわち，箱ひげ図の箱より上の最大値までの範囲に 7 人入る.

A 組のみ箱の上部が 80 点にかかっていて第 3 四分位数が 80 点なので 80 点以上の生徒が 8 人以上いる．他の組は 80 点以上は 7 人以下である．したがって，ア. A 組.

3

次の図のように，－３，－２，－１，１，２，３の数が１つずつ書かれた６枚のカードがある。このカードをよくきり，同時に２枚のカードをひくとき，あとの各問いに答えなさい。
ただし，どのカードをひくことも同様に確からしいものとする。（４点）

$\boxed{-3}$ $\boxed{-2}$ $\boxed{-1}$ $\boxed{1}$ $\boxed{2}$ $\boxed{3}$

⑴　ひいた２枚のカードに書かれた数の積が，正の数となる確率を求めなさい。

⑵　ひいた２枚のカードに書かれた数の和が，その２枚のカードに書かれた数の積より大きくなる確率を求めなさい。

解答

全ての場合の数は

$(-3, -2)$, $(-3, -1)$, $(-3, 1)$, $(-3, 2)$, $(-3, 3)$,
$(-2, -1)$, $(-2, 1)$, $(-2, 2)$, $(-2, 3)$,
$(-1, 1)$, $(-1, 2)$, $(-1, 3)$,
$(1, 2)$, $(1, 3)$,
$(2, 3)$

の 15 通りある．

⑴ 2 枚のカードに書かれた数の積が正の数となるのは

$(-3, -2)$, $(-3, -1)$,
$(-2, -1)$,
$(1, 2)$, $(1, 3)$,
$(2, 3)$

の 6 通り．よって求める確率は $\dfrac{6}{15} = \mathbf{\dfrac{2}{5}}$.

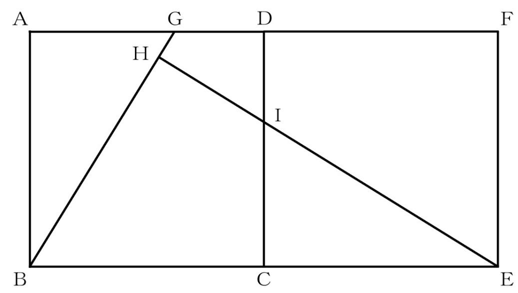
⑵ 2 枚のカードに書かれた数の和がそれらの数の積より大きくなるのは，正の数と負の数のカードの組み合わせと 1 と他の自然数の組合せである．よって

$(1, -3)$, $(1, -2)$, $(1, -1)$,
$(2, -3)$, $(2, -2)$, $(2, -1)$,
$(3, -3)$, $(3, -2)$, $(3, -1)$,
$(1, 2)$, $(1, 3)$

の 11 通りある．よって求める確率は $\mathbf{\dfrac{11}{15}}$.

4

次の図のように，線分ＣＤが共通である２つの正方形ＡＢＣＤ，ＤＣＥＦがある。線分ＡＤ上に点Ｇをとり，線分ＢＧをひく。点Ｅから線分ＢＧに垂線をひき，線分ＢＧとの交点をＨとする。また，線分ＥＨと線分ＣＤの交点をＩとする。
このとき，あとの各問いに答えなさい。
ただし，点Ａは点Ｆと異なる点，点Ｇは点Ａ，Ｄと異なる点とする。
また，点Ｂ，Ｃ，Ｅは同一直線上にある。（６点）



⑴　△ＡＢＧ≡△ＣＥＩであることを証明しなさい。

⑵　ＡＢ＝４ cm，△ＧＢＩの面積が５ cm^2 のとき，線分ＤＩの長さを求めなさい。
なお，答えに $\sqrt{}$ がふくまれるときは，$\sqrt{}$ の中をできるだけ小さい自然数にしなさい。

解答

(1) ＜証明＞ $\triangle$ABG と $\triangle$CEI で，仮定より

$$\mathrm{AB} = \mathrm{CE} \quad \cdots\cdots ①$$

また

$$\angle\mathrm{GAB} = \angle\mathrm{ICE}\ (= 90^\circ) \quad \cdots\cdots ②$$

$\angle$ABC で

$$\angle\mathrm{ABG} = 90^\circ - \angle\mathrm{HBE} \quad \cdots\cdots ③$$

$\triangle$HEB で GB $\perp$ EH より

$$\angle\mathrm{BEH} = 90^\circ - \angle\mathrm{HBE}$$

すなわち

$$\angle\mathrm{CEI} = 90^\circ - \angle\mathrm{HBE} \quad \cdots\cdots ④$$

③, ④より

$$\angle\mathrm{ABG} = \angle\mathrm{CEI} \quad \cdots\cdots ⑤$$

①, ②, ⑤より，1 組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので $\triangle\mathrm{ABG} \equiv \mathrm{CEI}$.

(2) DI $= x$ cm とすると IC $= (4-x)$ cm．また DG $= x$ cm，GA $= (4-x)$ cm．このとき $\triangle\mathrm{ABG} = \frac{1}{2}\times4\times(4-x) = 2(4-x)\ \mathrm{cm}^2$，$\triangle\mathrm{DIG} = \frac{1}{2}\times x\times x = \frac{1}{2}x^2\ \mathrm{cm}^2$.
また $\triangle\mathrm{CBI} \equiv \triangle\mathrm{CEI}$(証明略) であるから $\triangle\mathrm{CBI} \equiv \triangle\mathrm{ABG}$.
四角形 ABCD の面積は $4\times4 = 16\ \mathrm{cm}^2$ であるから

$$\triangle\mathrm{ABG} + \triangle\mathrm{CBI} + \triangle\mathrm{GBI} + \triangle\mathrm{DIG} = \text{四角形 ABCD}$$

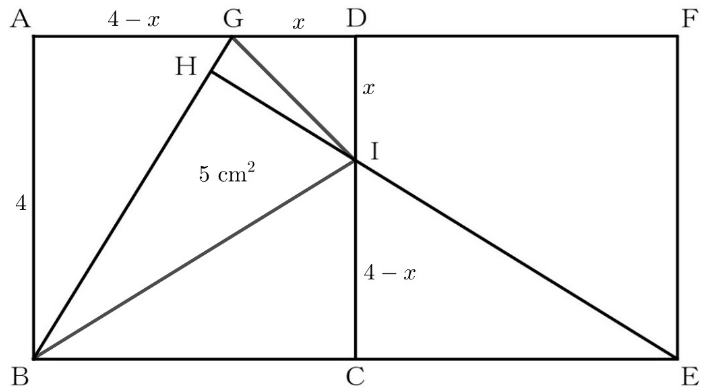
$$2(4-x)\times2 + 5 + \frac{1}{2}x^2 = 16$$

$$\frac{1}{2}x^2 - 4x + 5 = 0$$

$$x^2 - 8x + 10 = 0$$

$$x = \frac{8\pm\sqrt{64-40}}{2} = \frac{8\pm\sqrt{24}}{2} = \frac{8\pm2\sqrt{6}}{2} = 4\pm\sqrt{6}$$

$0 < x < 4$ より $x = (\mathbf{4-\sqrt{6}})$ cm.



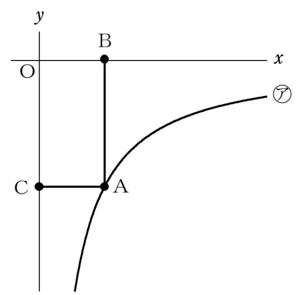
5

あとの各問いに答えなさい。（8 点）

(1) 右の図のように，関数 $y = -\dfrac{10}{x}$ （$x > 0$）…㋐ のグラフ上を動く点Aがある。また，点Aを通り y 軸と平行な直線と x 軸の交点をBとし，点Aを通り x 軸と平行な直線と y 軸の交点をCとする。

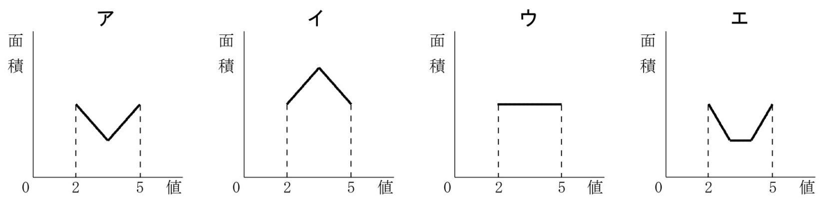
このとき，次の各問いに答えなさい。

ただし，原点をOとし，座標軸の 1 目もりを 1 cmとする。



① ㋐について，x の値が 2 から 5 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

② $2 \leqq x \leqq 5$ のとき，点Aの x 座標の値と四角形ＯＣＡＢの面積の関係を表したグラフが，次の**ア**～**エ**の中に 1 つある。そのグラフを**ア**～**エ**から 1 つ選び，その記号を書きなさい。



(2)　右の図のように，関数 $y=ax^2\cdots$ ㋐ のグラフ上に点Aがあり，点Aの座標が（4，4）である。

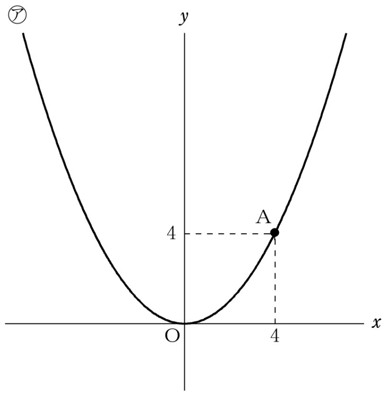
このとき，次の各問いに答えなさい。

ただし，原点をOとする。

①　a の値を求めなさい。

②　㋐のグラフ上に点Aと異なる点であるBをとり，直線ABと x 軸の交点をCとする。△OBCの面積と△OABの面積の比が2：3となるとき，点Bの x 座標をすべて求めなさい。

なお，答えの分母に $\sqrt{\ }$ がふくまれるときは，分母を有理化しなさい。また，$\sqrt{\ }$ の中をできるだけ小さい自然数にしなさい。



解答

(1)　①　$x=2$ のとき $y=-\dfrac{10}{2}=-5$，$x=5$ のとき $y=-\dfrac{10}{5}=-2$．よって変化の割合は

$$\frac{-2-(-5)}{5-2}=\frac{-2+5}{3}=\frac{3}{3}$$
$$=\mathbf{1}$$

②　四角形 OCAB の面積を S とすると，y は負の値なので

$$S=x\times(-y)=-xy=-x\times\left(-\frac{10}{x}\right)$$
$$=10$$

となり S は一定の値をとる．よってグラフは<u>ウ</u>.

(2)　①　$y=ax^2$ のグラフが A(4, 4) を通ることより

$$4=a\times4^2$$
$$4=16a$$
$$a=\mathbf{\frac{1}{4}}$$

②　㋐のグラフ上の点 B の座標を $\mathrm{B}\left(b,\ \dfrac{1}{4}b^2\right)$ とする．
直線 AB の方程式を $y=cx+d$ とすると，A を通ることより

$$4=4c+d\quad\cdots\cdots ⓐ$$

B を通ることより

$$\frac{1}{4}b^2=bc+d\quad\cdots\cdots ⓑ$$

ⓐ − ⓑより

$$\begin{array}{rrcl} & 4 & = & 4c+d \\ -) & \frac{1}{4}b^2 & = & bc+d \\ \hline & 4-\frac{1}{4}b^2 & = & (4-b)c \end{array}$$

よって

$$\frac{1}{4}(16-b^2)=(4-b)c$$
$$\frac{1}{4}(4+b)(4-b)=(4-b)c$$
$$c=\frac{1}{4}(4+b)$$

ⓐより

$$4=4\left\{\frac{1}{4}(4+b)\right\}+d$$
$$4=4+b+d$$
$$0=b+d$$
$$d=-b$$

よって

$$\mathrm{AB}:y=\frac{1}{4}(4+b)x-b$$

となる．

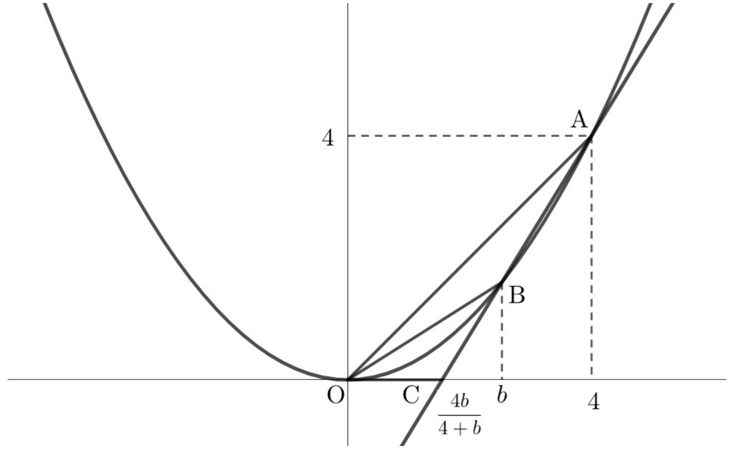
AB の x 軸との交点の x 座標は上式に $y=0$ を代入して

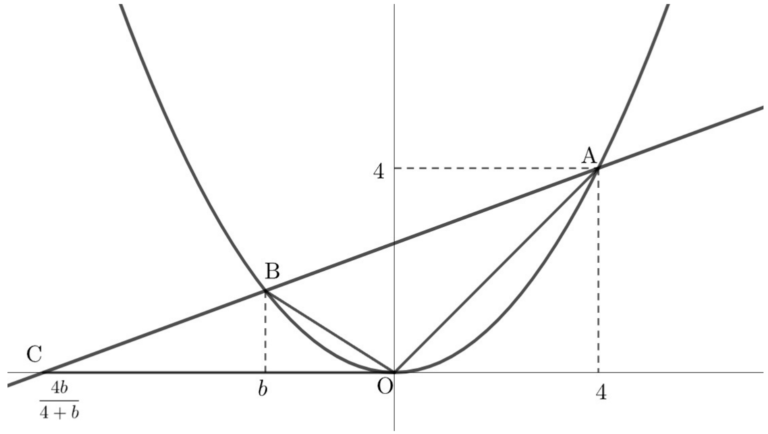
$$
\begin{aligned}
0 &= \frac{1}{4}(4+b)x - b \\
\frac{1}{4}(4+b)x &= b \\
(4+b)x &= 4b \\
x &= \frac{4b}{4+b}
\end{aligned}
$$

したがって C の座標は $\mathrm{C}\left(\frac{4b}{4+b},\ 0\right)$ となる．

$\triangle$OBC の面積と $\triangle$OAB の面積の比は C と B の x 座標 $(=b)$ との距離と，B の x 座標と A の x 座標 $(=4)$ との距離の比に等しいから

$$
\begin{aligned}
\left(b - \frac{4b}{4+b}\right) : (4-b) &= 2:3 \\
2(4-b) &= 3\left(b - \frac{4b}{4+b}\right) \\
8 - 2b &= 3b - \frac{12b}{4+b} \\
8 - 5b + \frac{12b}{4+b} &= 0 \\
(4+b)(8-5b) + 12b &= 0 \\
32 - 20b + 8b - 5b^2 + 12b &= 0 \\
-5b^2 + 32 &= 0 \\
5b^2 &= 32 \\
b^2 &= \frac{32}{5} \\
b &= \pm\sqrt{\frac{32}{5}} = \pm\frac{4\sqrt{2}}{\sqrt{5}} \\
&= \pm\boldsymbol{\frac{4\sqrt{10}}{5}}
\end{aligned}
$$





6

　Ｐ店では，１個１００円のあんまんと，１個１４０円の肉まんを販売（はんばい）している。ある１日の販売個数を調べると，あんまんは２６０個，肉まんは２５０個であった。また，代金と，その代金を支払（しはら）った人数を調べると下の表のようになった。

　このとき，あとの各問いに答えなさい。

　ただし，おつりがないように代金を支払ったものとする。（６点）

表

代金（円）	100	140	200	240	280	300	340	380	420
支払った人数（人）	40	33	20	50	15	10	(Ⅰ)	(Ⅱ)	10

⑴　次の［　　］は，表の［　］の部分からわかることをまとめたものである。

代金４２０円は，［(A)］の代金のことであり，その代金を支払った人数が10人であることから，［(B)］が販売されたことがわかる。

①　上の［(A)］にあてはまることがらはどれか，次の**ア**～**エ**から最も適切なものを１つ選び，その記号を書きなさい。

ア．あんまん３個　　**イ**．あんまん２個と肉まん１個
ウ．あんまん１個と肉まん２個　　**エ**．肉まん３個

②　上の［(B)］にあてはまることがらはどれか，次の**ア**～**エ**から最も適切なものを１つ選び，その記号を書きなさい。

ア．あんまん30個　　**イ**．あんまん20個と肉まん10個
ウ．あんまん10個と肉まん20個　　**エ**．肉まん30個

⑵　次の［　　］は，表の［(Ⅰ)］，［(Ⅱ)］にあてはまる数を求めるために，連立方程式に表したものである。

代金３４０円を支払った人数を x 人，代金３８０円を支払った人数を y 人とすると，

$$\begin{cases} 2x+y+\boxed{(C)}=260 \\ x+2y+\boxed{(D)}=250 \end{cases}$$

と表すことができる。

①　上の［(C)］，［(D)］に，それぞれあてはまる適切な数を書き入れなさい。

②　表の［(Ⅰ)］，［(Ⅱ)］に，それぞれあてはまる適切な数を書き入れなさい。

解答

(1)　①　$420=140\times3$ よりエ.

②　$3\times10=30$ よりエ.

(2)　①

$340=200+140=100\times2+140$

$380=100+280=100+140\times2$

あんまんが n 個売れたことを $\mathrm{A}\times n$，肉まんが m 個売れたことを $\mathrm{B}\times m$ のように表すと，

	A × 40	B × 33	A × 40	A × 50 + B × 50	B × 30	A × 30	A × 2x + B × x	A × y + B × 2y	B × 30
代金 (円)	100	140	200	240	280	300	340	380	420
支払った人数 (人)	40	33	20	50	15	10	x	y	10

表より

$$\begin{aligned} &\mathrm{A}\times40+\mathrm{B}\times33+\mathrm{A}\times40+\mathrm{A}\times50+\mathrm{B}\times50+\mathrm{B}\times30+\mathrm{A}\times30 \\ &\quad+\mathrm{A}\times2x+\mathrm{B}\times x+\mathrm{A}\times y+\mathrm{B}\times2y+\mathrm{B}\times30 \\ &\quad=\mathrm{A}(40+40+50+30+2x+y)+\mathrm{B}(33+50+30+x+2y+30) \\ &\quad=\mathrm{A}(2x+y+160)+\mathrm{B}(x+2y+143) \end{aligned}$$

よって連立方程式

$$\begin{cases} 2x+y+160=260 & \cdots\cdots ⓐ \\ x+2y+143=250 & \cdots\cdots ⓑ \end{cases}$$

を立てることができる．ゆえに，**(C)：160**，**(D)：143**.

②　ⓐ, ⓑより

$$\begin{cases} 2x+y=100 & \cdots\cdots ⓐ' \\ x+2y=107 & \cdots\cdots ⓑ' \end{cases}$$

ⓐ$'\times 2-$ⓑ$'$ より

$$\begin{array}{rrcr} & 4x+2y & = & 200 \\ -) & x+2y & = & 107 \\ \hline & 3x & = & 93 \\ & x & = & 31 \end{array}$$

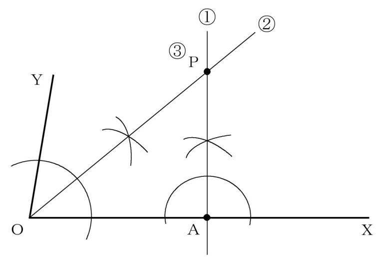
ⓐより

$$y=-2x+100=-62+100$$
$$=38$$

よって，(I)：**31**，(II)：**38**.

（数学）前期選抜採点基準

「採点基準」で処理できない場合は，各校の統一見解で採点されたい。

問題		配点	正答例	備考
1 ２０点	⑴	１点	３１	
	⑵	１点	$-x+9$	
	⑶	２点	$6\sqrt{3}$	
	⑷	２点	$x=-3,\ 2$	
	⑸	２点	５３，５９	
	⑹	２点	$y=\frac{3}{2}x-4$	
	⑺	２点	－８４	
	⑻	２点	27π　cm^2	
	⑼	２点	$\angle x=130°$	
	⑽	２点	$\frac{16}{3}$　cm	
	⑾	２点		＊　①，②のいずれか１つ示せた場合，１点。 ＊　①，②，③すべて示せた場合のみ，２点。 ＊　数学的な推論をもとに，作図されていればよい。
2 ６点	⑴	２点	６８　点	
	⑵	２点	５２　点	
	⑶	２点	ア	
3 ４点	⑴	２点	$\frac{2}{5}$	
	⑵	２点	$\frac{11}{15}$	

（裏面へ続く）

4 ６点	⑴			４点	〈証　明〉 △ＡＢＧと△ＣＥＩにおいて， 仮定より，　ＡＢ＝ＣＥ　・・・① ∠ＢＡＧ＝∠ＥＣＩ＝９０°　・・・② ∠ＡＢＧ＝９０°－∠ＨＢＥ　・・・③ △ＢＨＥは直角三角形だから， ∠ＣＥＩ＝９０°－∠ＨＢＥ　・・・④ ③，④より， ∠ＡＢＧ＝∠ＣＥＩ　・・・⑤ ①，②，⑤より， １組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので， △ＡＢＧ≡△ＣＥＩ	・　①の証明ができて，１点。 ・　②の証明ができて，１点。 ・　⑤の証明ができて，１点。 ＊　数学的な推論の過程が，的確に表現されていればよい。
	⑵			２点	$4-\sqrt{6}$　cm	
5 ８点	⑴	①		２点	１	
		②		２点	ウ	
	⑵	①		２点	$a=\frac{1}{4}$	
		②		２点	$x=\pm\frac{4\sqrt{10}}{5}$	＊　すべて正答の場合のみ，２点。
6 ６点	⑴	①		１点	エ	
		②		１点	エ	
	⑵	①	(C)	１点	１６０	
			(D)	１点	１４３	
		②	(Ⅰ)	２点	３１	＊　(Ⅰ)，(Ⅱ)両方正答の場合のみ，２点。
			(Ⅱ)		３８	
合　計				５０点		